

永福一丁目～四丁目

浜田山一丁目・三丁目

下高井戸一丁目～三丁目

和泉一丁目～四丁目

方南一丁目～二丁目

堀ノ内一丁目～二丁目

大宮一丁目

松ノ木一丁目

永福四丁目



方南・ホウナン



方南銀座商店街

伊豆

イズミ

7 方南・和泉地域



凡例			
	公園・運動場等		街路樹
	河川、玉川上水		遊歩道・散歩みち
	農地		商店街
	屋敷林		寺社
	地区計画		文化財
	風致地区		学校施設

歴史

この地域は、江戸時代、和田村、堀ノ内村、和泉村、永福寺村、下高井戸村でした。明治22年(1889年)に和田村、堀ノ内村、和泉村、永福寺村の4村が合併し、和田堀内村となりました。下高井戸村は、明治22年(1889年)に大宮前新田、松庵村、久我山村、中高井戸村、上高井戸村と合併し、高井戸村となりました。当時は農地や雑木林に囲まれて農家が点在する農村地帯でした。

大正2年(1913年)に甲州街道沿いに京王電気軌道(現在の京王線)が、昭和8年(1933年)に帝都電鉄(現在の京王井の頭線)が開通しました。

大正15年(1926年)に和田堀内村は和田堀町に、高井戸村は高井戸町になりました。

用途地域*

永福町駅及び西永福駅周辺、甲州街道や環七通り沿道などは、商業地域及び近隣商業地域です。その他の区域は、第一種低層住居専用地域などです。

また、環七通り沿道は、沿道地区計画*が導入されるなど、道路交通騒音の防止と商業・業務機能の集積が図られています。

景観要素

生活的要素

土地区画整理*が実施された地区がある一方、戸建住宅や木造アパートが密集している地区もあります。

また、方南一丁目地区は東京都の不燃化特区*に指定されており、公園や広場といった空地がほかの区域よりも少ないため、災害時に避難する場所の確保に取り組んでいます。

永福町駅、西永福駅及び方南町駅周辺は、にぎわいのあるまちなみが形成されています。

自然的要素

北側を東西に善福寺川が、中央を東西に神田川が流れています。

和田堀公園や下高井戸おおぞら公園、寺院などみどり豊かなオープンスペース*が多く点在しています。

また、善福寺川の親水護岸*と一体となった済美公園があります。

公共的要素

道路としては、南北に環七通り、東西に北から方南通り、甲州街道、南東から北西にかけて井の頭通りが通っています。

甲州街道などの幹線道路沿道には、共同住宅や事業所ビルなどが連なっています。

永福町駅北口商店街の区道第2101-1号路線は、無電柱化整備などにより、安全で快適な歩行空間が確保されています。

鉄道としては、井の頭通りに沿って京王井の頭線が走り東から永福町駅、西永福駅があるとともに、地域の東端には東京メトロ丸ノ内線方南町駅があります。

また、方南一丁目地区においては、「方南一丁目地区防災まちづくり計画*」を令和6年(2024年)7月に策定し、建物の不燃化等の防災まちづくりを推進しています。

文化的要素

方南銀座商店街では、毎年8月に「HONAN エイサー&ミュージックフェス」が開催され、小さな子どもから小・中学生、大人まで地域が一体となって楽しんでいます。

また、杉並に関する歴史と郷土資料の収集・保存、調査・研究と展示・公開を行っている杉並区立郷土博物館があり、歴史と文化に触れることができます。